

**T2、レベル 4 自動運転の社会実装に向けた固有の課題を解決へ
～「自動運転トラック輸送実現会議」参画企業 5 社と実証を開始～**

自動運転トラックによる幹線輸送の商用運行を開始した株式会社 T2（東京都千代田区、代表取締役 CEO：森本 成城、以下「T2」）は、「自動運転トラック輸送実現会議 ～L4 Truck Operation Conference～」*¹の参画企業 5 社とともに、現状のレベル 2 自動運転トラック*²から、今後、レベル 4 自動運転トラック*³を社会実装させるにあたって固有の課題となる▽関東－関西間の日中運行のオペレーション構築と、▽遠隔での車両の監視および緊急時の対応の手順を確認する実証を、2025 年 7 月中旬以降から開始します。



1. 背景・目的

2024 年 11 月に設立した「自動運転トラック輸送実現会議 ～L4 Truck Operation Conference～」には現在、物流会社、自動車メーカー等から 14 社が参画し、レベル 4 自動運転トラックの社会実装に向けて毎月協議を実施しています。今回、本会議に参画する企業間での共創が不可欠な課題を中心に抽出し、下記 2 つの実証を実施することになりました。

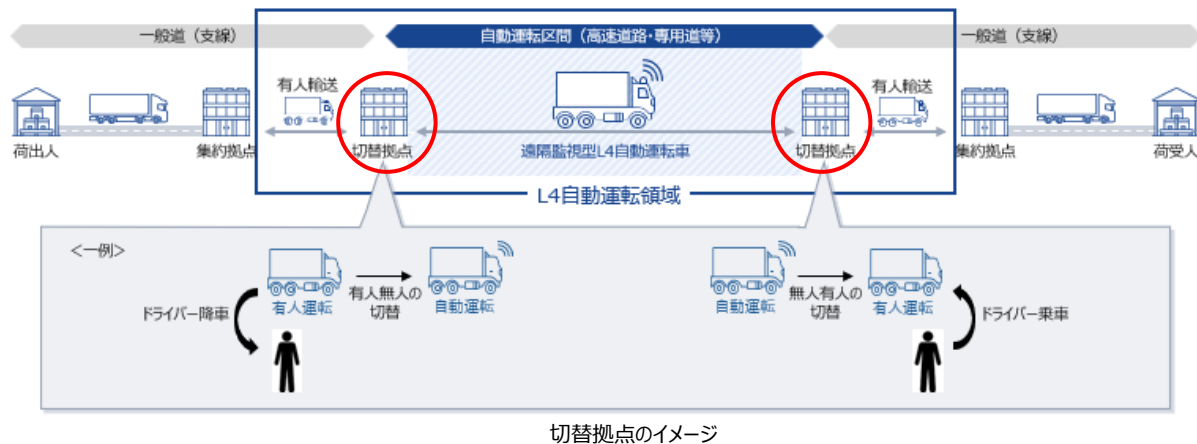
2. 実証概要

（1）実証①：日中時間帯を有効活用した運行オペレーションの構築

現状、運送各社による関東－関西間の長距離輸送は「夜間」の時間帯に集中しており、ドライバーの拘束時間を踏まえると、往復に 2 日以上かかるのが実態です。ドライバーの乗車を必要としないレベル 4 自動運転トラックを実装し、「日中」の時間帯を有効活用すれば、これを 1 日に短縮し、輸送キャパシティの増大が期待できます。

また、レベル 4 自動運転トラックによる幹線輸送では、インターチェンジ付近もしくは直結するエリアに、一般道における有人運転と高速道路における無人運転の切り替えを行う拠点（以下、「切替拠点」）の設置が前提となるため、時間帯によっては上記拠点のキャパシティがオーバーする恐れもあり、運行ダイヤの適正化が課題となっています。また、現状、運送各社は、日中、一般道における集荷・配送に集中しており、幹線輸送する荷量

が夜間と比較すると少ないため、この確保も必要となります。



こうした課題を念頭に、以下のとおり、「自動運転トラック輸送実現会議」に参画する福山通運、三井倉庫ロジスティクスの荷物を日中時間帯に T2 の自動運転トラックで輸送し、上記切替拠点の通過にかかる時間など運行ダイヤを確かめる実証を行います。

時期	2025 年 7 月 23 日から 7 月 24 日
場所	関東－関西間の高速道路の一部区間にて実施
役割	福山通運・三井倉庫ロジスティクス：積載貨物の提供、輸送オペレーションの提供 T2：全体マネジメント、実験用車両の提供、関東－関西間の輸送
トラック	T2 が開発したレベル 2 自動運転トラック（ドライバーが乗車し、レベル 2 相当で実施）
積載	福山通運、三井倉庫ロジスティクスの荷物
検証内容	・日中輸送における運行ダイヤ（切替拠点の通過時間等）の検証 ・上記ルートにおける運行オペレーション・走行リードタイム検証 ・想定したオペレーションパターンの有効性検証

（２）実証②：遠隔での車両監視および緊急時の対応

レベル 4 自動運転トラックは無人状態での走行を前提とするため、事故や故障などの緊急事態が発生した際に適切かつ迅速な対応を取ることができる体制を構築する必要があり、今回、KDDI と三井住友海上、日本郵便とともに、レベル 4 自動運転トラックを想定し、緊急時の対応の手順を確認する実証を行います。

時期	2025 年 7 月中旬以降
場所	関東－関西間の高速道路の一部区間で実施
役割	KDDI：通信ネットワーク・遠隔監視システム提供、正常監視、異常時切り分け対応 三井住友海上：緊急時の対応、現場駆けつけ・レッカー手配 日本郵便：一時退避場所（高速道路外）の提供 T2：全体マネジメント、実験用車両の提供
トラック	T2 が開発したレベル 2 自動運転トラック（ドライバーが乗車し、レベル 2 相当で実施）
検証内容	・遠隔監視での異常検知時の対応における実効性や課題の検証 ・継続輸送体制構築に向けた検証 ・関係機関との議論に向けた課題の検証 ※1 本実証では高速道路上での停車は実施しない ※2 警察と関係機関への通報は模擬にて実施 ※3 レッカー牽引は模擬にて実施

3. 今後の展望

本実証を通じて、「自動運転トラック輸送実現会議 ～L4 Truck Operation Conference～」の参加企業と連携してオペレーションの実効性検証や課題の洗い出し、解決に向けた検証を行うことにより、レベル 4 自動運転トラックに向けた準備を加速させてまいります。

*1 設立の際のニュースリリース：<https://www.t2.auto/news/1106.pdf>

*2 ドライバーの監視の下に行われる、特定条件下での高機能自動運転

*3 特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態

■株式会社 T2

本社所在地：東京都千代田区内幸町二丁目 2 番 3 号 日比谷国際ビル 1 階

代表者：代表取締役 CEO 森本 成城

設立日：2022 年 8 月 30 日

事業内容：自動運転システムの開発、レベル 4 自動運転トラックによる幹線輸送サービス事業、幹線輸送に付随した関連サービス事業、その他関連サービス事業

企業サイト：<https://t2.auto/>

公式 X：https://x.com/t2_auto

【お問い合わせ先】株式会社 T2 広報 pr@t2.auto

以 上